

中間事業報告書

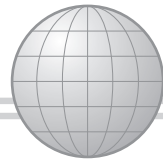
H.I.S. Interim Business Report

第28期 (平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

H.I.S.
Highest International Standards

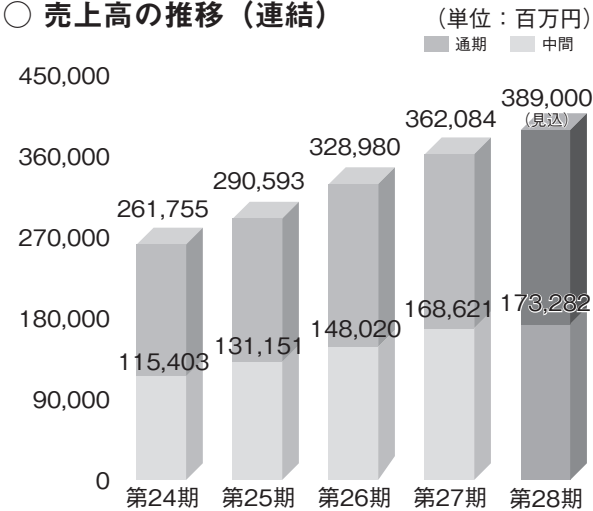
<http://www.his-j.com>

株式会社 エイチ・アイ・エス

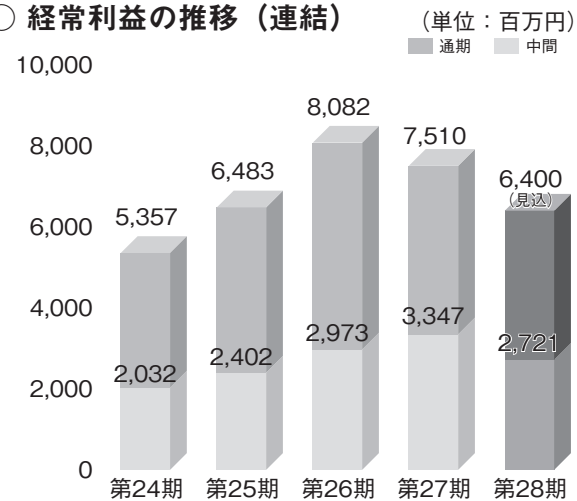


連結財務ハイライト

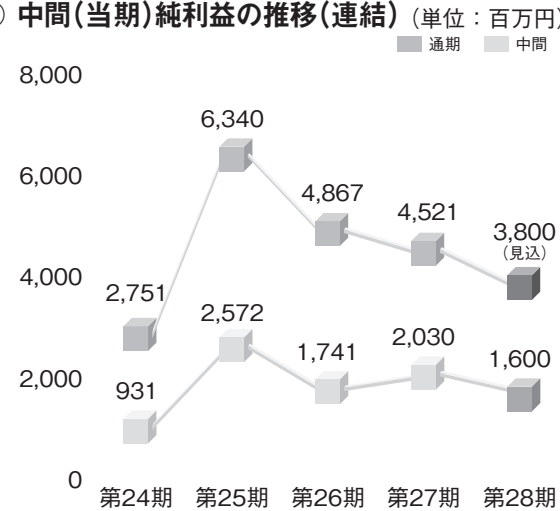
○ 売上高の推移（連結）



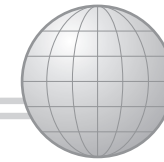
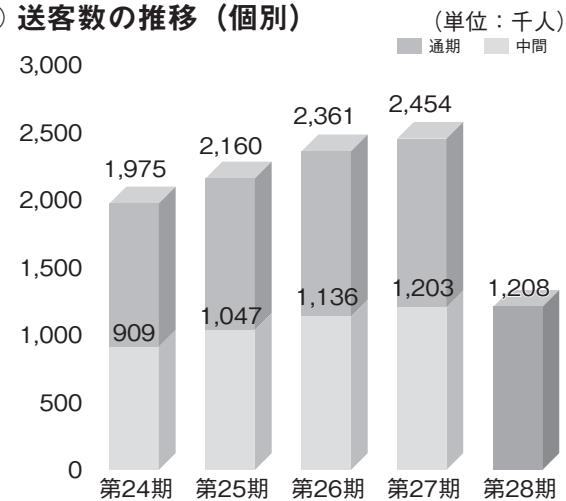
○ 経常利益の推移（連結）



○ 中間(当期)純利益の推移（連結）



○ 送客数の推移（個別）



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、本年4月1日付けで鈴木芳夫の後任として代表取締役社長に就任いたしました。皆様へH.I.S. Interim Business Reportをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社第28期の上半期（平成19年11月1日から平成20年4月30日まで）を振り返りますと、日本経済は、企業の設備投資や個人消費がおおむね横ばいの動きを見せるなど、景気回復はやや足踏み状態で推移いたしました。旅行業界におきましては、堅調に推移するものと予想されていた日本人出国者数は、燃油特別付加運賃の相次ぐ値上げに伴う負担増などにより、国際観光振興機構（JNTO）による同時期の推計値は前年同期比約4.2%減（約35万9千人減）の約819万1千人と予想を下回る結果となりました。

このような経営環境の中で、旅行事業におきましては、需要を確実に確保していくため、各旅行シーズンへ向けた商品を早めに発表し、早期集客を強化いたしました。年明け恒例の「初夢フェア」など価格訴求を中心としたキャンペーンに加え、週末の休みを利用した旅行需要の喚起を狙い「週末こだわり海外旅行特集」を行うなど、積極的に集客増に努めました。また、お客様のご要望にお応えして、燃油特別付加運賃などの諸費用を含めたお支払い総額を表記した新たな旅行商品を造成し、ご好評を得ることができました。ホテル事業におきましては、オーストラリア国内とアジア方面からの取り込みが好調に推移し、客室稼働率も引き続き高水準を維持することができました。また顧客単価も改善され業績向上に大きく寄与しました。

以上のような結果、当中間期の連結業績は、売上高1,732億82百万円（前年同期比102.8%）、営業利益25億48百万円（同86.6%）、経常利益27億21百万円（同81.3%）、中間純利益16億円（同78.8%）となっております。

今後の経営環境につきましては、原油価格の高騰や世界経済の減速感などから、個人消費の停滞が懸念され、海外旅行需要も景況感の影響からおおむね横ばい

で推移するものと予想されます。

このような見通しのもとに、当社グループは主力の旅行事業においては、内外の激変する環境の中で、引き続きお客様にご支持いただき、成長し続けていくために、新体制のもと、積極的な権限委譲を行うことで、これまで以上に経営判断及び営業施策の展開スピード向上を図ってまいります。また安心・安全なご旅行を常に提供できるように新設した「いい旅研究室」では旅行商品の品質管理をより一層強化し、お客様にご満足いただける商品開発・情報提供を行ってまいります。商品展開につきましても、価格訴求面だけに偏らず、細かなニーズに対応できるアレンジ力や付加価値サービスをアピールし、競合他社との差別化を図り、高付加価値商品の拡充を図ってまいります。インターネットビジネスについてもオンライン予約商品の拡充に加え、重要なマーケティング及びコミュニケーションチャネルとして強化を図ってまいります。さらに今後も大きな伸びが期待される団体・法人向け販売についても、これまで培ってきた手配力を一層強化し、引き続き新規顧客開拓に努めてまいります。

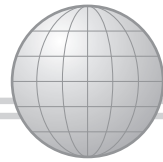
ホテル事業に関しましては、更なるサービスレベル向上を図り、高客室稼働率を維持し、安定した収益確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年7月



代表取締役社長
平林 朗



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(平成20年4月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	75,280	流動負債	56,450
現金及び預金	41,080	営業未払金及び買掛金	20,351
売掛金	5,386	一年以内返済予定	167
営業未収入金	10,606	長期借入金	814
有価証券	1,731	未払費用	1,426
繰延税金資産	3,898	未払法人税等	886
旅行前払金	10,442	未払消費税等	300
前払費用	871	旅行前受金	22,791
短期貸付金	76	賞与引当金	1,682
その他	1,215	役員賞与引当金	21
貸倒引当金	△ 27	短期積立付与引当金	4
固定資産	26,954	為替予約	6,351
有形固定資産	7,687	その他	1,653
建物	5,169	固定負債	1,917
器具及び備品	777	長期借入金	50
土地	1,638	繰延税金負債	7
その他	101	退職給付引当金	1,338
無形固定資産	1,357	役員退職慰労引当金	404
投資その他の資産	17,909	長期積立付与引当金	1
投資有価証券	10,002	その他	114
長期貸付金	1,458	負債合計	58,367
差入保証金	4,460	純資産の部	
繰延税金資産	1,387	株主資本	46,462
その他	746	資本金	6,882
貸倒引当金	△ 147	資本剰余金	7,782
資産合計	102,234	利益剰余金	34,058
		自己株式	△ 2,261
		評価・換算差額等	△ 2,986
		その他有価証券評価差額金	△ 1,033
		繰延ヘッジ損益	△ 3,676
		為替換算調整勘定	1,724
		少数株主持分	390
		純資産合計	43,867
		負債・純資産合計	102,234

中間連結損益計算書

(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	173,282
売上原価	148,202
売上総利益	25,079
販売費及び一般管理費	22,531
営業利益	2,548
営業外収益	576
営業外費用	402
経常利益	2,721
特別利益	44
特別損失	117
税金等調整前中間純利益	2,648
法人税、住民税及び事業税	1,010
少数株主利益	38
中間純利益	1,600

中間連結株主資本等変動計算書

(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

(単位：百万円)

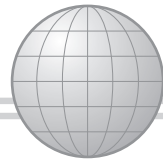
	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年10月31日残高	6,882	7,782	33,391	△ 1,563	46,493	△ 405	△ 1,183	3,063	1,475	410	48,379
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 661		△ 661				-		△ 661
中間純利益			1,600		1,600				-		1,600
連結子会社増加に伴う減少額			△ 271		△ 271				-		△ 271
自己株式の取得				△ 697	△ 697				-		△ 697
自己株式の処分		0		0	0				-		0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					-	△ 628	△ 2,493	△ 1,339	△ 4,461	△ 20	△ 4,481
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	666	△ 697	△ 30	△ 628	△ 2,493	△ 1,339	△ 4,461	△ 20	△ 4,512
平成20年4月30日残高	6,882	7,782	34,058	△ 2,261	46,462	△ 1,033	△ 3,676	1,724	△ 2,986	390	43,867

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 796
現金及び現金同等物の減少額	△ 3,314
現金及び現金同等物の期首残高	38,995
連結子会社増加による現金及び現金同等物の期首残高	9
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,691



中間個別財務諸表

中間個別貸借対照表

(平成20年4月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	61,395	流動負債	50,163
現金及び預金	29,923	営業未払金	17,071
売掛金	3,748	旅行前受金	20,988
営業未収入金	9,416	その他	12,103
有価証券	1,697	固定負債	1,668
旅行前払金	9,716	負債合計	51,832
その他	6,893	純資産の部	
固定資産	29,510	株主資本	43,771
有形固定資産	1,618	資本金	6,882
無形固定資産	1,031	資本剰余金	7,782
投資その他の資産	26,860	利益剰余金	31,367
資産合計	90,905	自己株式	△ 2,261
		評価・換算差額等	△ 4,697
		純資産合計	39,073
		負債・純資産合計	90,905

中間個別損益計算書

(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	148,837
売上原価	130,084
売上総利益	18,753
販売費及び一般管理費	17,530
営業利益	1,222
営業外収益	344
営業外費用	336
経常利益	1,230
特別利益	34
特別損失	36
税引前中間純利益	1,228
法人税、住民税及び事業税	566
中間純利益	662

中間個別株主資本等変動計算書

(平成19年11月1日から平成20年4月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計			
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計								
平成19年10月31日残高	6,882	7,778	3	7,782	246	25,565	5,555	31,366	△ 1,563	44,467	△ 407	△ 1,183	△ 1,590	42,877
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当				—		△ 661	△ 661			△ 661				— △ 661
別途積立金の積立				—	2,000	△ 2,000	—			—				—
中間純利益				—		662	662			662				662
自己株式の取得				—					△ 697	△ 697				— △ 697
自己株式の処分			0	0					0	0				— 0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)				—						—	△ 613	△ 2,493	△ 3,106	△ 3,106
中間会計期間中の変動額合計	—	—	0	0	—	2,000	△ 1,998	1	△ 697	△ 696	△ 613	△ 2,493	△ 3,106	△ 3,803
平成20年4月30日残高	6,882	7,778	3	7,782	246	27,565	3,556	31,367	△ 2,261	43,771	△ 1,020	△ 3,676	△ 4,697	39,073

トピックス

●平林新社長のもと新たな体制がスタート

本年4月1日付で平林新社長が就任し、同時に大きな組織変更や若い人材の登用も行われました。

旅行業界を取り巻く環境は急速に、また多様に変化してきておりますが、当社創業以来のベンチャースピリットを今一度新たにし、ゼロベースで全ての見直しを行い、グローバル化を図ってまいります。

新たなビジネスモデルの構築、スピーディな営業施策の展開、お客様の目線に一層フィットするような旅行商品とサービスの提供など、平林新社長のもと、新たな体制で皆様のご期待にお応えしたいと考えます。



(新社長就任記者会見)

●燃油特別付加運賃を含めた海外旅行商品の発売

近年、「海外旅行はしたいけれど、航空券・ツアー代金以外に徴収される料金が大きい」「支払い総額が分かりづらい」「どんな諸費用がかかるのか、内容が不透明」などのご意見をお客様より頂戴してまいりました。

当社では、このようなお客様のご意見に応え、諸費用を含めた「お支払い総額」を表記し、その内訳も記載して分かりやすい商品を作成しました。当社では、2月末より諸費用を表示代金に含めて表記したツアー「明朝会計シリーズ」を、アジア・アメリカ・ビーチ・オセアニア・ヨーロッパ各方面の行き先で試験的に発売し、お客様よりご好評いただきました。今後も、より多くの方に世界を体験していただきたいという願いのもと、「お得な価格」で「納得の内容」の商品をお届けするため、日々チャレンジしてまいります。



●注目のリゾートに支店オープン

いま注目のアラビアンリゾートにドバイ支店が3月1日にオープンしました。日本からドバイへは出張、コンベンション等のビジネス需要に加えて、近年では高級リゾート、ショッピングパラダイスとしての知名度が高く、ここ数年は日本からの渡航者数が顕著な伸び率で増加していることから、ドバイ支店ではそのようなビジネス・観光顧客への現地サービスに力を入れることにより、安心・充実の旅を提供してまいります。また、数々の豪華ホテルや世界一高いビル、世界最大規模のテーマパークの建設など話題に事欠かないドバイへは、今後もさらに日本からの渡航者が増加することが予想され、ドバイ支店オープンを機にさらにパッケージツアー等の強化をすると共に、現地でのスピーディかつ誠実な対応を目標に、お客様の様々なご旅行をサポートしてまいります。



●“ブルーマングループin 東京”

「日本初公演チケット付きオフィシャルツアー」発売

世界中を熱狂させる超絶エンターテインメント「ブルーマングループ」の日本初公演を、H.I.S.がオフィシャルツアーエージェンシーとして全面サポート、昨年12月からの公演観賞チケット付きのオフィシャルツアーを発売しました。今回のツアーは、1990年代にニューヨークから始まり、今では世界8都市でロングラン公演を行う「ブルーマングループ」の日本初公演のチケットが付いた、国内の旅行会社ではH.I.S.限定の内容でした。H.I.S.では、今後も世界の一流エンターテインメントを国内で鑑賞するツアーを企画し、より一層国内旅行も楽しんでいただくきっかけとなれればと思っております。



●社会貢献活動（子ども世界体験プログラムの実施）

当プログラムは「世界の未来を担う子ども達に旅を通じて大きな夢を抱いて欲しい」「海外を旅する機会が少ない子ども達に海外旅行の良さを知ってもらいたい」という思いからスタートした、海外旅行への招待プログラムです。



第1回は、昨年12月、応募いただいた全国の児童養護施設で生活する小学5年生～中学3年生のうち24名様に、クリスマスの日に出発して3泊4日でグアム旅行を楽しんでいただきました。ご参加いただいた方々には旅行中に様々な笑顔を見せていただき、またご帰国後は思いのこもったお便りを頂戴しました。この取り組みに対する多くのご賛同もあり、この夏にプログラムの第2回目を実施いたします。今後も、少しでも多くの子ども達に世界を体感していただき、将来への大きな夢を抱けるきっかけづくりのお手伝いをしたいと考えております。



●営業所オープンのお知らせ（平成19年11月1日から平成20年4月30日）

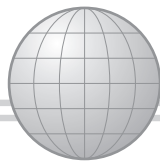
新たに国内に6営業所、海外に2支店がオープンいたしました。

今後も国内外問わず、積極的な店舗展開を行い多くのお客様にご利用いただけるよう努めてまいります。

お近くの営業所には是非お立寄りください。

地域	店舗名	所在地	オープン日
関東	群馬法人 営業所	群馬	11月1日
	四ツ谷 営業所	東京	11月26日
関西	甲東園 営業所	兵庫	12月25日
	御影クラッセ 営業所	兵庫	3月17日
	阪急三宮駅 営業所	兵庫	4月1日
	アリオ八尾 営業所	大阪	4月25日
海外	ドバイ 支店	UAE	3月1日
	シラチャー 支店	タイ	4月1日

平成20年4月30日現在
国内店舗数：242（関東134 中部32 関西42 九州21 特約代理店13）
海外店舗数：65都市75拠点



会社の概要 (平成20年4月30日現在)

商号 株式会社 **エイチ・アイ・エス**
 英文社名 H.I.S. Co., Ltd.
 本店 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
 設立 昭和55年12月19日
 資本金 68億82百万円
 株主数 11,172名
 従業員数 3,758名

(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)

主要な事業内容

当社は、旅行業法に基づく旅行業（国土交通大臣登録旅行業第724号）を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務に従事し、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。

ホームページ <http://www.his-j.com>

連結対象会社

(1) 連結子会社

① 日本国内

株式会社ナンバーワントラベル渋谷
 株式会社エイチ・アイ・エス沖縄
 株式会社オリオンツアー
 株式会社ATB
 株式会社クルーズプラネット
 株式会社エイチ・アイ・エス
 エクスぺリエンス ジャパン

以上6社

② アジア、オセアニア

HIS (HONG KONG) COMPANY LIMITED
 H.I.S. WESTRALIA PTY LTD.
 H.I.S. KOREA CO., LTD.
 PT. HARUM INDAH SARI TOURS AND TRAVEL
 など14社

③ 北米 (含むハワイ、グアム、サイパン)
 H.I.S. U.S.A. INC.
 H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (NY) INC.
 HAWAII HIS CORPORATION
 H.I.S. GUAM, INC.
 H.I.S. SAIPAN, INC
 など10社

④ ヨーロッパ

H.I.S. EUROPE LIMITED
 H.I.S. Deutschland Touristik GmbH.
 H.I.S. INTERNATIONAL TOURS FRANCE S.A.R.L.
 など5社

(2) 持分法適用関連会社

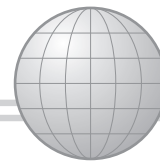
九州産業交通ホールディングス株式会社
 HIS-HS九州産交投資事業有限責任組合
 H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (L.A.), INCORPORATED
 H.I.S. TAIWAN COMPANY LIMITED
 以上4社

(3) 当中間連結会計期間において、子会社株式会社エイチ・アイ・エス エクスぺリエンス ジャパンを連結子会社といたしました。

役員 (平成20年4月30日現在)

取締役会長	澤田秀雄
代表取締役社長	平林朗
常務取締役	楠原成基
取締役	高木潔
取締役相談役	鈴木芳夫
取締役相談役	行方一正
取締役	平田雅彦
常勤監査役	矢野誠
監査役	梅田常和
監査役	山本克
執行役員	三上幹夫
執行役員	和田光

(注) 1.取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。
 2.監査役 梅田常和氏及び監査役 山本 克氏は、社外監査役であります。



株主メモ

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで

定時株主総会 毎年1月

基準日 毎年10月31日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
または連絡先 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求)

☎ 0120-175-417

(その他のご照会)

☎ 0120-176-417

インターネット <http://www.sumitomotrust.co.jp/>
ホームページURL [STA/retail/service/daiko/index.html](http://www.his.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告 (電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う)

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ (<http://www.his.co.jp>) で公開しております。

最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

単元未満株式の取扱 買取及び買増制度

単元未満株式 (100株未満の株式) をご所有の場合、当社に対して買取請求 (売却する) 及び買増請求 (買増して1単元の株式 (100株) にする) ができます。お手続きの詳細は、株主名簿管理人の事務取扱場所にお問い合わせ下さい。(株券保管振替制度をご利用される場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

～株主様ご優待のお知らせ～

当社商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。対象は、毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿及び実質株主名簿にご記載のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様となります。



※100株以上…1枚、500株以上…2枚、1,000株以上…3枚

今回お送りする株主優待券は来年 (平成21年) の7月31日までご利用になれます。

また、ご利用にあたっては、当社の商品券「SKY」と併用することも、ご予約された営業所にご郵送いただいでご利用することもできます。